

KAKENから統合成果データベースへ

学術基盤推進部学術コンテンツ課
片岡 真



ビッグデータ

▶ 条件再設定 条件指定なし

🔍 研究課題を検索

👤 研究者を検索

検索結果: 332件中 1-20 を表示

1 2 3 4 5 6 ... 17 次へ

CSVで出力 ▼ 実行

20件ずつ表示

📄 現代日本における若年層のライフコース変容と格差の連鎖・蓄積に関する総合調査
石田 浩

研究期間: 2010年5月31日～2015年3月31日(予定)
 研究分野: [社会学](#)→[社会学](#)→[社会学](#) 研究種目: [基礎研究\(S\)](#)
 キーワード: 格差 / 社会学 / 社会移動 / 社会移動 / 階層 / 階級
 研究概要: 本研究は、若年・壮年者を2007年の第1回調査から毎年継続して追跡し、社会・経済的な格差や不平等がライフコースの中でどのように広がるのかを明らかにする。平成25年度には、下記のような成果をあげた。(1)若年・壮年層の2007年の第1回調査以降、若年・壮年の対象者を毎年継続して追跡し実施した。高卒パネル調査の対象者についても、第10波調査を2014年度に実施した。(2)前年度までに実施したパネル調査のクリーニング・コーディングが完了した。

[2013年度 研究実績報告書](#)

...石田浩: "大規模社会調査データの保存・公開・活用" 日本社会学会 慶應義塾大学 有田伸: "非正規雇用問題の日韓比較研究" 韓国社会学会 佐藤博樹: "SSJデータアーカイブにおけるデータの保存と普及" 存と共有(招待講演). (20140205-20140205). 国立国会図書館
 "Dropout from Higher Education and Social Stratification in Japan"

📄 MDS原因遺伝子の同定と解析を通じた細胞分化制御システムの解明
稲葉 俊哉

研究期間: 2010年6月23日～2015年3月31日(予定)
 研究分野: [多方向かつ段階的に進行する細胞分化における運命決定メカニズム](#)
 研究種目: [新学術領域研究\(研究領域提案型\)](#) 研究機関: [広](#)
 キーワード: 7番染色体欠損 / MDS / エピゲノム制御 / エンドソーム代謝 / 発がん / 骨髄性白血病
 研究概要: 正常造血細胞の分化メカニズムを、造血細胞の分化コースを逸脱した白血病細胞の分化メカニズムを解明することにより解明する。また、次世代シーケンサを用いたエピゲノム制御変化を「ビッグデータ」として捕捉し、解析サービスを北村班内外の研究者に提供し、細胞分化の統合的理解を進める、の二点が本計画研究班の目的である。このため、本研究は以下の二つの研究を進めてきた。(1)MDSに特徴的な7qの4責任遺伝子候補のうち、SAM9/SAMD9Lの機能と細胞運命決定。(2)エピゲノム制御の正常/異常(MDS)造血細胞分化への関与。(3)片アレル欠失効果メカニズムの解明。平成25年度までの研究経過は当初計画の枠内で...

📄 細胞機能解明のためのイオン・蛍光マルチモーダルイメージセンサシステム創製
澤田 和明

研究期間: 2012年5月31日～2017年3月31日(予定)
 研究分野: [電子デバイス](#)→[電子機器](#)→[電子デバイス](#)→[電子機器](#) 研究種目: [基礎研究\(S\)](#)

KAKENの概要

- 科研費の研究課題・報告書を公開するデータベース
- 国立情報学研究所が、文部科学省、日本学術振興会と協力して作成・運用

データ数

- 研究課題: 78万件(+約7万件/年)
- 報告書数: 138万件(+約10万件/年)
- 発表文献: 700万件(+約40万件/年)

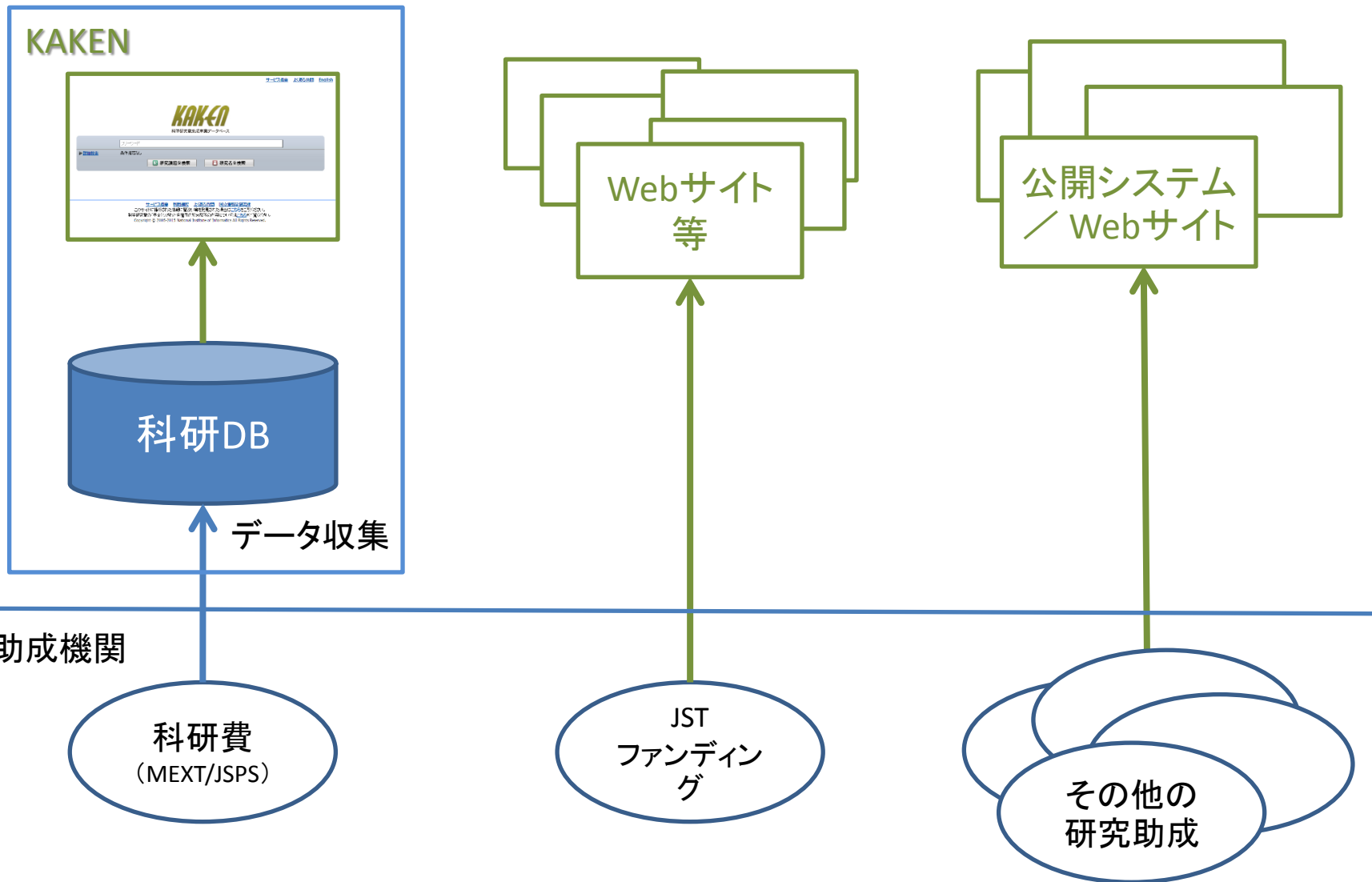
アクセス数

- 検索: 400～500万回/年
- 詳細表示: 2,000万回以上/年

階級
 低侵襲
 異種メディア通信
 時系列解析
 操作手続
 中心市街地活性化
 データ形式

研究助成成果の公開(現状)

成果の公開



JST研究成果データベースの公開 (平成27年度上期を予定)

JST研究成果 (JSTがファンディングした情報) の一元的な発信

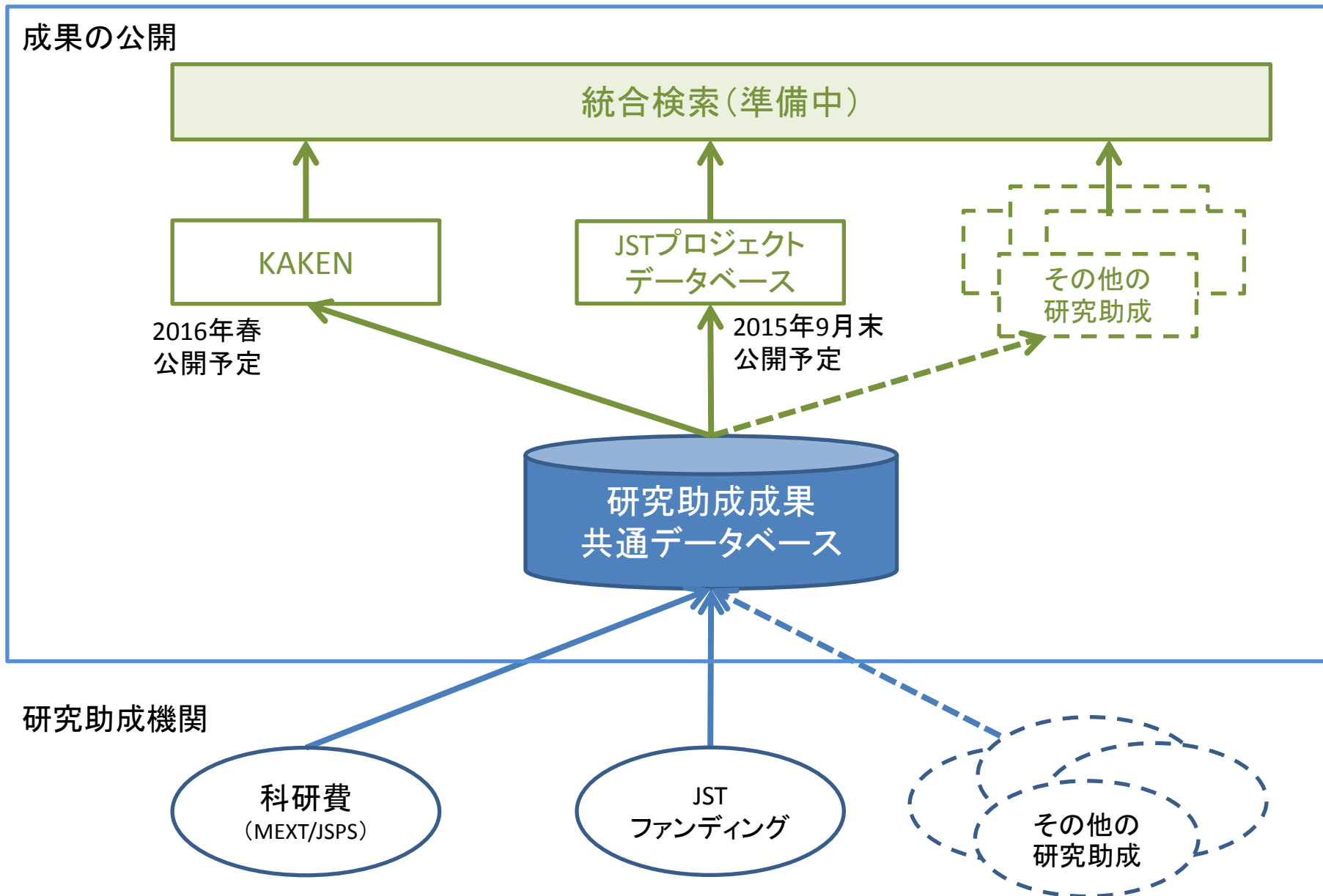
- ✓ JSTファンディングの内容、研究実施状況、研究成果を検索・閲覧しやすく
- ✓ JSTがファンドした研究に関心を持つ研究者や企業等が研究課題や成果を見つけ易くなり、情報交換・共同研究や成果展開の契機となることに期待



【課題】 他省庁を含めた政府研究開発投資の横断的かつ継続的な情報収集と、政策へのフィードバックができる仕組みが必要

- JSTとNIIの連携事業
 - KAKENをベースにした新しい研究助成成果データベース
- JSTプロジェクトデータベース
 - JSTが実施したファンディング事業の研究開発課題(約3万件)およびその研究成果を公開
- 研究課題のライフサイクル可視化
 - 採択、交付、報告書、評価資料、受賞、外部リンク(プレスリリース、新聞報道、アウトリーチ)
- ルックアンドフィールの洗練
 - 多言語対応
 - レスポンシブ(スマホなど)対応
 - CiNiiシリーズとのテーマ共通化
- 高アクセス負荷への対応、可用性の向上
 - 分散型キーバリューストア(Riak)を採用
 - 大量データアクセス(ダウンロード、API)のニーズ
- データ反映の迅速化
- 制度変更への柔軟性
 - 領域研究、制度・事業、研究分野
 - 基金化(科研費)、異なるデータ形式(研究成果公開促進費、新技術説明会)・・・

研究助成成果の公開(予定)



我が国におけるオープンサイエンス推進のあり方について ～サイエンスの新たな飛躍の時代の幕開け～



2015.3.30, 国際動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会. 内閣府

2. オープンサイエンス推進の基本的考え方

(1) オープンサイエンス推進の目的・意義

公的研究資金による研究は、新たな発見や洞察を提示し、それにより、健康、エネルギー、環境、農業といったあらゆる分野の進歩を強かに牽引してきた。こうした公的研究資金による研究成果として得られた論文や研究データへのアクセスを可能とすることで、研究成果の理解促進と同時に、成果の再利用による新たな発見や、新たな研究概念の創出とイノベーションを加速し、新たな産業の創出、競争力の強化、地球規模での研究の促進、経済成長等に貢献するものである。

(2) オープンサイエンス推進に係る公開の範囲

公的研究資金による研究成果のうち、論文及び論文のエビデンスとしての研究データは、原則公開とし、その他研究開発成果としての研究データについても可能な範囲で公開することが望ましい。なお、研究成果のうち、個人のプライバシー、商業目的で収集されたデータ、国家安全保障等に係るデータなどは公開適用対象外とする。

(3) 公的研究資金の定義及び研究データの範囲

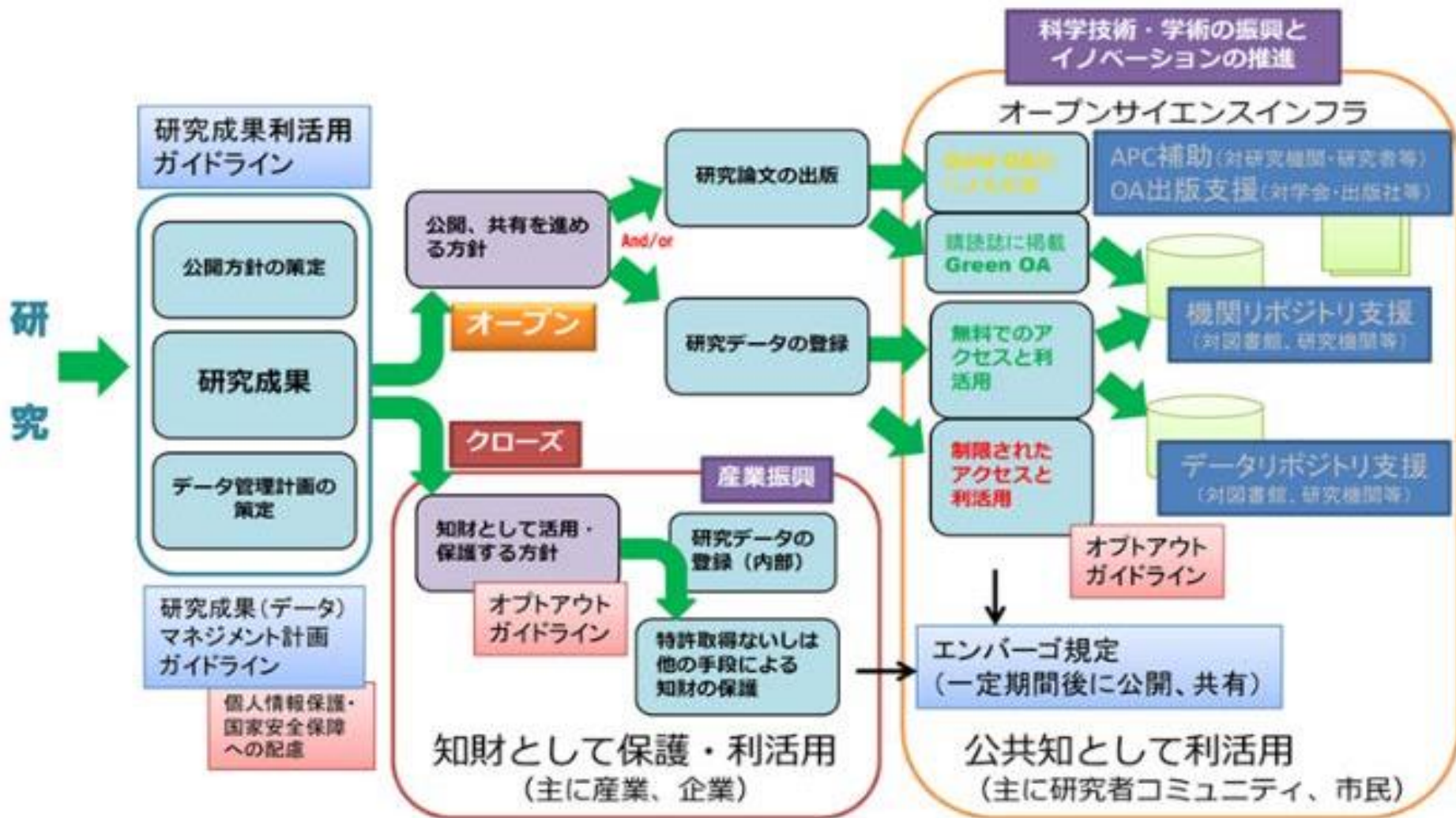
公的研究資金とは、競争的研究資金及び公募型の研究資金に該当するものとする。

公開の対象となる研究データには、メタデータ、数値データ、テキストレコード、イメージ、ビジュアルデータなど多様なデータが含まれる。

(4) 研究を実施する機関の責務

各機関においては、論文、研究データ等の研究成果の管理に係る規則を定め、特に、研究成果の散逸、消滅、損壊を防止するための具体的施策を講ずる必要がある。

図 研究成果の利活用、オープンサイエンスの推進に係る概念図



下記図表を参考に和訳、改変

Guidelines on Open Access to Scientific Publications and Research Data in Horizon 2020 Version 1.0 11 December 2013 p.4
http://ec.europa.eu/research/participants/data/ref/h2020/grants_manual/hi/oa_pilot/h2020-hi-oa-pilot-guide_en.pdf

出典: 科学技術・学術審議会学術分科会 学術情報委員会(第2回)
 オープンサイエンスにおけるJST情報事業の取り組み, 2015-05-14

- 資金
 - 科研費の助成額(H26)は、2,305億円
 - 競争的資金全体の6割
- 発表文献
 - 科研費：約400,000件／年
 - 科研費が関与した論文(科研論文)は我が国の論文数の約5割、被引用度トップ10%論文数の約6割
 - 出典：平成25年8月, 科学技術・学術審議会学術分科会研究費部会. 学術研究助成の在り方について(研究費部会「審議のまとめ(その1)」)
- 原則オープンアクセス義務化
- 研究不正対策での研究データ保全

大学とNIIが共に創る、安心・安全・便利な学術情報の流通基盤

将来像(イメージ)

